

## 区自治協議会会長会議の報告

西区自治協議会会長 大谷 一 男

令和7年3月18日（火）午後3時30分から市役所本館3階対策室において、令和6年度第3回自治協議会会長会議が開催されました。概要を以下のとおり報告いたします。

会議は座長の開会挨拶に続いて、次第に沿って会議が進められました。

最初の議題である区自治協議会 第9期 を振り返って～成果と課題～について、各区でまとめていただいた資料に基づき、北区、東区、中央区、江南区、秋葉区、南区、西区、西蒲区の各会長から概ね7分程度の説明がありました。

各区の特記事項は、以下のとおり。

- ・北 区、幅広い世代で楽しみながら防災を学ぶことを目的とした「北区防災かるた」を作成。絵札、読み札の応募数350作品。
- ・東 区、途中下車の旅：紫竹・江南・石山エリア、中野山エリア、大形エリアのエリアマップを作成
- ・中央区、ヤングの老舗めぐり：地域の歴史や食文化に興味を持つきっかけとなるよう、老舗を紹介するリーフレットを作成
- ・江南区、日本発祥の新しいスポーツである「スポGOMI大会」を開催
- ・秋葉区、地域経営の強化を図ることを目的に、コミュニティ未来ビジョン策定支援事業、ワークショップ、座談会 の実施
- ・南 区、市長及び教育長へ「南区における中学生のための部活動と地域クラブに関する建議書」を提出
- ・西蒲区、支え合いの大切さを広げることを目的に「3のつく日は、支え合いDAY」を呼びかける。

各会長の説明後に質疑応答を行いました。

質疑応答の後に市民協働課長から、第9期振り返りの資料概ね80頁は、4月に完成して第10期の委員に届くよう作業を進める旨の説明がありました。併せて、第10期新任委員研修会の資料説明がありました。

なお、西区の第9期の振り返りについての説明要旨を別紙に添えましたのでお目通し下さるようお願いいたします。

## 別紙 会長会議 第9期を振り返って（説明要旨）

西区自治協議会の第9期の振り返りについて説明させていただきます。

62頁の「1の、はじめに」をご覧くださいと存じます。

西区自治協議会では重点的に取り組んだ課題として、環境美化、防犯、支え合いの大切さ普及、区の魅力発信に取り組んでまいりました。

西区は震災の被害も大きく、多くの場所で復興の活動が行われておりますが、区自治協議会の協働の要としての役割を停滞させることのないように、委員一人ひとりが地域課題の解決に向けてアイデアを出し広報活動を行い、地域活動団体と共に協働して事業に取り組んで参りました。

次に、2の取組内容・成果・課題の（1）本会について、をご覧ください。

本会は、様々な議事案件や報告事項を審議しますが、その会議終了後に、委員全体で活発な議論の場とすべく「防災」をテーマにして、地域の防災力向上に向けての取り組みを行いました。

令和5年度は、防災システム研究所の山村武彦所長を講師に迎え、区民に向けた、防災講演会を実施し、令和6年度は防災士の自治協委員が講師となり、委員向けに研修会を実施してまいりました。

研修会では、ワークショップ形式で委員同士の意見交換や情報共有の時間を設け、活発に議論を行い、防災意識の向上を図りました。

次に部会・提案事業についてであります。

第1部会では、令和5年度は、前期に引き続き、環境美化について取り組み、ごみ拾いSNSの活用やごみ拾いを行う団体を支援することで、ごみのないきれいな西区を目指しました。

令和6年度は、メインテーマとして特殊詐欺と自転車盗難に対する防犯について取り組みました。高校生と協働で自転車の施錠を呼びかける防犯キャンペーンや、新潟西警察署による講演や落語を取り入れた特殊詐欺防犯講演会を実施し、区民の防犯意識向上に向けた事業を展開しました。

サブテーマとして環境美化も引き続き取り組み、ポイ捨て防止の看板を作成し、コミ協や自治会に配布し、220枚の看板を設置してもらうことで、ポイ捨ての減少を図りました。

看板は、効果が顕著でしたので、ご参考に供する意味で本日持参しましたので、ご覧くださいと思います。デザインは新潟西警察署とも協議し、看板のデザインも警告という文字を大きくしました。反射素材で材質はアルミ複合材の固い板となっています。

第2部会では、前期に引き続き、支え合いの大切さ普及事業に取り組みました。

支え合いの第1歩として「毎月5のつく日はごあいさつデー」をキャッチフレーズに西区の各駅であいさつ運動を展開し、通勤、通学等の区民に対して周知に努めました。

また、令和6年度はイオン青山店、イオン西店にもご協力いただき、店舗内でもあいさつ運動を実施し、さらなる周知を行ったことで、支え合いのきっかけとなるあいさつを区内に浸透することができたと思います。

第3部会では、前期に引き続き区の魅力発信に取り組みました。

西区にあるさまざまな魅力を掘り起こし、親しみを持ってもらえるよう、フォトコンテストを開催し、前期に選定した西区の魅力ある風景の「西区八景」や、西区の魅力を多くの方々に知ってもらうことができました。

令和6年度はフォトコンテストにプラスして、魅力的なスポットを巡るバスツアーも実施し、区民や大学生を中心に多くの方にご参加いただきました。

また、区の公共交通に関する調査・研究活動にも取り組み、公共交通改善プラン、区バス・住民バスに関する勉強会を実施し、公共交通の側面から見た区の魅力発信について考えを深めることができました。

広報紙特別部会では、自治協の活動を区民に周知することや認知度向上を目的に、西区自治協広報紙「西区を豊かに」を第9期に6回発行した他、西区だよりで自治協特集を2回掲載させていただきました。

区民参加型の企画として西区八景クイズやクロスワードパズルを掲載し、多くの区民から回答をよせて頂いた際に自治協に対する意見や感想を得ることができました。

なお、「西区を豊かに」は西区自治協議会3期目の2012年の3月に創刊号を発刊して以来、第47号を数えております。

最後にアートフェスティバル特別部会では、西区の文化風土を大切にして区民の一体感を醸成するため、区内で音楽、芸能やアート表現に取り組んでおられる方々の、発表の場として、西区アートフェスティバルを開催してまいりました。

区内の大学や小学校、福祉施設とも連携し、アート作品展示やステージ発表をも実施しました。大学生と自治協委員が自ら企画、運営し、様々な作品や体験コーナーで多くの方々に楽しんでいただくことができました。

西区アートフェスティバルは、第4期目の2013年の10月に第1回目をスタートして、今年度は第12回目の実施となりました。

「3のおわりに」としまして、今期は各委員の専門分野を活かした視点で事業を展開し、効果的かつ効率的に地域課題の解決に取り組んできました。

課題でありました本会での議論活性化についても「防災」という地域課題について、部会の垣根を越えて議論することで、普段事業を共にしない委員同士も意見交換を行い、考えを深めることができました。

来期も、本会と部会ともに活発な議論が行われ、区民と市の協働の要として、活動の活性化がさらに図られることを期待しています。